

精華町キャラバン・メイト連絡会 設立趣意書

住民の高齢化に伴い、認知症の症状を示す方も増加の一途をたどっています。

しかしながら、認知症について正しい理解がされていない現状があり、認知症の方やその家族に対する偏見や誤解により、周辺の人との人間関係が損なわれ、その家族が疲れ切って、共倒れしてしまうことも少なくありません。

周囲の方の理解と気遣いがあれば、住み慣れた地域において穏やかに暮らすことが可能であり、尊厳のある暮らしをみんなで守ることができます。

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する「認知症サポーター」を一人でも多く増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指すために、全国規模で「認知症サポーターキャラバン」が展開されており、精華町においても、認知症について正しい知識を伝える講師役として「認知症キャラバン・メイト」が養成されました。

そこで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに向け、地域や職域、学校などにおいて、幅広い年齢層の「認知症サポーター」を養成する等の活動や、精華町における認知症に関する課題研究と情報発信を行うため、「精華町キャラバン・メイト連絡会」を設立いたします。

平成 25 年 10 月 26 日

精華町キャラバン・メイト連絡会準備会
代表 田中 克博